

☆ お詫びと訂正 ☆

前号(2020年2月号)9ページ『InterBEE2019出展社概要③』の伊藤忠ケーブルシステム様の記事内にて、誤ってInterBEE2018の記事内容を掲載致しました。下記に正しい記事を掲載致しますとともに、読者並びに関係者各位に深くお詫び申し上げます次第です。

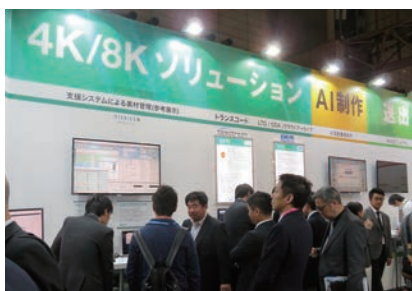
伊藤忠ケーブルシステム

4K/8K制作ツールを中心に多様なソリューションを展示した。

◆高性能4K SDR/HDR クロスコンバータ
Technicolor エンジンによる印象的なSDR/HDR 双方向コンバータを展示。過去素材をワンパスで高品位な4K HDRへ、また4K HDH カメラの撮影素材も安定した放送用HD SDRへ変換が可能な製品。



▶ https://www.itochu-cable.co.jp/products/Cobalt-Digital/item_4046



◆支援システムによる素材管理 (参考展示)
ニシコンJaprs 連携によるファイルベース素材管理をご提案。MAMの運用に欠かせない素材メタの収集と作成をアシストすることにより、素材整理の判断と作業を容易にし、リソースの有効活用を可能にする。

◆AIによるハイライトシーンの自動作成

Valossa 社製AI 製品を初 VALOSSA 展示。手間のかかる大量コンテンツのダイジェスト版作成を同社のAI エンジンを使って自動で作成。高次元のAI エンジンを使い、動き、感情や表情を解析し、作品の意図に沿ったハイライトシーンを自動抽出する。

▶ <https://valossa.com/>



◆4K/8K ノンリニアワークフロー

4K/8K 映像コンテンツ制作システムを汎用性のあるWorkstationベースで構築展示。4K/8K 化の懸念であったデータ容量の増加に対応しながらも8K 映像制作に必要な転送速度も考慮したシステム提案です。

▶ <https://www.itochu-cable.co.jp/4k/edit.html>



◆QC ツールコーナー

パカパカチェッカーの標準機ハーディングの4K/HDR 対応製品や Venera Technologies 社製Pulsar 最新バージョン、ターボシステムズ社のXAVC 素材のプレビューに有効なXJive-MXF プレーヤを展示した。

▶ https://www.itochu-cable.co.jp/products/production/harding/Cambridge_Research_Systems



▶ https://www.itochu-cable.co.jp/products/Venera_Technologies/item_4039



ファイルベース自動QCシステム file-based Automated QC system

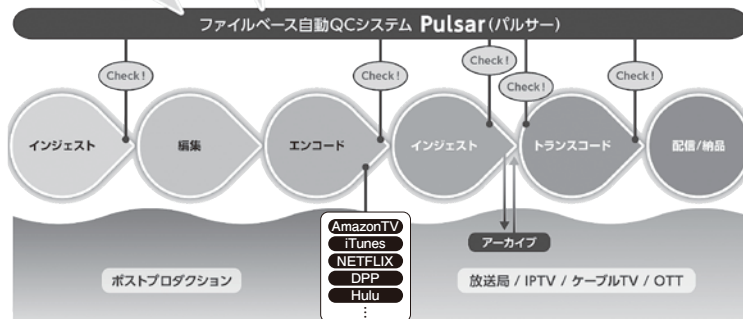


さらに拡大するファイルベース制作ワークフローにおいて、大量のファイル取り込みから配信/納品までの各ポイントにおける品質管理は益々重要になってきています。

2003年創業以来、すでに世界で150以上のユーザーの獲得実績を誇る、Venera Technologies社のファイルベースQCシステム「Pulsar (パルサー)」は、豊富な対応フォーマット、独自に柔軟な設定が可能な解析テンプレート機能、オペレータの省力化をサポートする各種自動化機能などを備えた、費用対効果の高い自動QCツールです。

用途ごとにチェックが必要とされる各項目を高速に、確実で一貫したチェックを行い、解析し評価を行います。

- コンテナ
 - メタデータ
 - AVフォーマット
 - 品質パラメータを
- 任意のポイントで Check!



《Pulsar画面》

- 多くの現場オペレータの声を反映させた、直感的なユーザーインターフェイスとレポート機能を搭載したQCシステムです。
- コンテンツファイルのコンテナ、メタデータ、AVフォーマット、その他品質パラメータを解析テンプレートに従って高速に自動品質評価します。
- 特定の検証プロセスに適用できるルール/プロファイル/テンプレートを独自に定義できます。
- HLSやSmooth StreamingフォーマットなどのAdaptive Bitrateコンテンツの解析に対応しています。
- ハーディングPSE解析エンジンをオプション追加可能です。



伊藤忠ケーブルシステム株式会社
クロスメディアソリューション本部 TEL.03(6277)1851
〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-20-14 高輪パークタワー